

名立工業城

ちょっと気になる事

殷名立工業城

先月号では周辺土地の工場建設をご紹介しましたが、敷地周辺は山々に囲まれ当地東莞におきましては景観に恵まれていると自負しております。今後更なる開発が進む中でこの自然環境と共存して行く事が出来れば理想ですが…。どうしても後追いとなってしまっているのが現状で、自然というより**工然?**となっている様に感じます。



いつまでもこの様な景観を……

漁梁園名立工業城

日本では新緑の季節となり、新しい葉が、木々の枝にぶら下がり森林浴に浸るとマイナスイオンを体一杯に浴びて非常に清々しい気持ちになり又明日への活力に…といった感じで記事を書けるのですが、ここ中国華南ではなかなか季節感を味わうには難しい地域ではありますが、工業城もおかげさまで5周年を迎えるまでになり、開業当時植えた木々やその後進出企業様の協力もあって緑化も進み、森林浴とまでは行きませんが、少しだけ地球温暖化防止に貢献出来る様になってきました。



工業城内木々



工業城出入通用道路

委託加工(来料加工)はこれから…3

委託加工(来料加工)で痛い目にあった、〔例:2〕

広東省某所電線加工廠(操業7年)

Xデーは2006年9月某日、朝9時頃担当税関より、本日工場見学に行くのでお願いしたいという内容で電話連絡があった。その日の午後、担当税関の職員が4名加工廠に見学に来て、工場内をひと通り見学し、廠長及び加工廠報関員と15分ほど世間話をして無事に帰った。当日は加工廠報関員と現場管理者が見学の対応し、日本人管理者(責任者)は特に何も対応していなく、無事見学のみで問題なしとの内容の報告を受けた。しかし、本当のXデーはこの先に突如おそって来た。見学から約1ヶ月後担当税関より、朝電話で『今日工場査察に行く』との連絡が入った。

午前11時頃関係者と思われる税関職員5名(制服着用者)が来て、輸出入手冊、物流帳簿の提示を要求し確認し始めた、合わせて工場の確認も要求があり2名が帳簿類の確認3名が工場の確認と分かれて行く様になり、帳簿類は加工廠報関員が対応し、工場は現場責任者が対応して行った。この現場確認の際に各工程を税関職員が見てまわっていたが現場責任者に**損耗品**の保管場所の確認を依頼し**損耗品**のある所に案内させ確認した所、**損耗品**と**不良品**と一緒に保管されており区分けが無い状態であって、現場責任者も**損耗品**と**不良品**の違いを把握しておらず税関職員からの指摘に対しても上手く対応出来ずに現場確認は終了し帳簿類確認を行っている事務室に戻り、税関職員から**損耗品**の扱いに関して、報関員に質問が出て売却しているのなら、税関に対しての売却申請ならびに、売却履歴の提示(廠会計書類)要求された。

しかし、創業以来(7年間)売却申請ならび会計上国内売上計上は一度も行うこと無く、廃材業者に他の廃棄品(段ボール等)と一緒に売却し、売却金額は社内で台帳管理はしていたが、税務局への報告も無かった、したがって過去へさかのぼり輸出重量に対して、損耗率に準じた重量(損耗材料)紛失したとの扱いになった。

当然、紛失した損耗品材料金額、罰金、今回の処理をする為に骨をおってくれた方たちへの謝礼金と莫大な費用が発生。謝礼金と、損耗品紛失金額は何とか支払いを行ったが、罰金は一括で支払えず分割にしてもらう様にした。

明確な金額は分かっておりませんので、記載は出来ませんが、恐らく日本円で数億円になっている様です。

この様な情報を耳にする度に、我が身に降りかかってきた時は…と考えると背筋が寒いのは通り越し、凍ります。

清溪鎮紹介

急速な発展をしている当鎮ではありませんが、世界的な環境汚染問題等にも考慮?して、緑化にも力をいれ景観にも建物建設の際は配慮して行われています。その一環からかは?ですが、開発地域において、古いものは全て取り壊し新たらしくするというのでなく、古くから有るいい物は残す傾向にあるようです。



樹齡50年以上の…

編集部より

ライチ(荔枝)の季節が来ました、先月号に掲載しましたが今年は豊作の様です、街には早くもちらほら見かける様になってきました。当社敷地にも植えた木が5年目でやと実が成り…。ことわざにあります「桃栗3年…ライチ5年?」



PS:今年のF1HONDAの車体色は地球をイメージ!?

\*\*\* 名立編集部 \*\*\*  
mail: minli@96326.com  
TEL:0769-733-8958  
FAX:0769-733-8957 (小倉、李)